

各 位

会 社 名 株 式 会 社 さ い か 屋
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 山 野 井 輝 夫
(コード番号 8254 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 執 行 役 員 中 野 宏 治
(TEL. 046-822-8046)
当社の親会社 株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 浅 山 雄 彦
(コード番号 2927 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取 締 役 会 長 室 長 南 方 茂 補
(TEL.054-281-5238)

業績予想修正に関するお知らせ

当社は 2024 年 10 月 15 日に公表いたしました 2025 年8月期第2四半期(中間)累計期間(2024 年9月1日～2025 年2月 28 日)及び、2025 年8月期通期(2024 年9月1日～2025 年8月 31 日)の連結業績予想および個別業績予想について、下記の通り修正致します。

記

1. 2025 年8月期第2四半期(中間期)業績予想の修正(2024 年9月1日～2025 年2月 28 日)

連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想(A)	百万円 2,234	百万円 72	百万円 63	百万円 53	円 銭 10.79
今 回 修 正 予 想(B)	2,360	59	103	99	20.11
増 減 額(B－A)	126	△12	40	46	
増 減 率(%)	5.6	△17.3	64.8	88.0	
前年同期実績	2,641	66	58	48	9.90

個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間利益
前 回 発 表 予 想(A)	百万円 2,232	百万円 71	百万円 62	百万円 52	円 銭 10.59
今 回 修 正 予 想(B)	2,360	57	181	177	35.84
増 減 額(B－A)	128	△13	119	125	
増 減 率(%)	5.8	△19.7	191.9	240.4	
前年同期実績	2,641	69	61	51	10.46

2. 2025 年8月期通期業績予想の修正(2024 年9月1日～2025 年8月 31 日)

連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想(A)	百万円 4,404	百万円 114	百万円 103	百万円 87	円 銭 17.63
今 回 修 正 予 想(B)	4,530	114	106	100	20.19
増 減 額(B-A)	126	0	3	13	
増 減 率(%)	2.9	0.0	2.9	14.9	
前年同期実績	4,950	110	100	72	14.67

個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想(A)	百万円 4,400	百万円 112	百万円 101	百万円 85	円 銭 17.22
今 回 修 正 予 想(B)	4,529	112	183	178	35.93
増 減 額(B-A)	129	0	82	93	
増 減 率(%)	2.9	0.0	81.2	109.4	
前年同期実績	4,941	107	97	69	14.11

3. 修正の理由

2025 年8月期第2四半期累計期間の業績予想におきまして、大型テナント招致に関わる固定資産受贈益、横須賀店改装に伴う改装費用及び支払利息で△9 百万円を営業外損益として見込んでおりましたが、横須賀店改装に伴う改装費用 20 百万円が下期にずれ込んだため、上期の経常利益が 30%以上の上振れとなりました。なお、個別業績における経常利益は、弊社 100%子会社アルファトレンド株式会社からの配当金 80 百万円の受入れによるものであります。

通期の連結業績予想につきましては、下期売上高は当初の業績予想のままとし、営業利益につきましても引き続きローコストオペレーションを継続し、上期の未達分を挽回すべく、年間業績予想としては当初の業績予想通りといたしました。経常利益以下につきましては、第2四半期累計期間の影響を織り込んだことに加え、金利上昇局面での厳しい環境下にあることを踏まえ、年間経常利益の業績予想を 106 百万円(当初予想から+3百万円)、同親会社株主に帰属する当期純利益を 100 百万(当初予想から+13 百万円)とし、いずれも増益の上方修正いたしました。

4年前にスタートした構造改革が順調に進み、8 期連続の赤字から、3 期連続で 100 百万円レベルの経常黒字を確保できるところにまで回復いたしました。今後さらに、大型テナント誘致により増加したお客様層に向けた百貨店としての売場作りをはじめ、横須賀店空き区画へのテナント誘致などによる利益拡大策を確実に実施し、更なる業績向上を目指してまいります。

以上